

# 数学

北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文・教育・法・経済・医（保健看護・作業）】

## <全体分析>

試験時間	90分	解答問題数	4題
------	-----	-------	----

### 解答形式

全問記述方式

### 分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化）

今年は経験したことのないタイプの問題もあり難しく感じただろう。

### 出題の特徴や昨年との変更点

「微分法・積分法」の問題が今年はお題された。

### その他トピックス

理系との共通・類似問題が今年復活した（**3**）。

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
<b>1</b>	式と証明（整式）	数学Ⅱ	恒等式の考えを利用した整式の決定問題。北大では珍しいタイプではあるが、それほど難しくはない。	標準
<b>2</b>	平面ベクトル	数学B	角の2等分線がテーマだが、「外角の2等分線」の問題が未経験ならば、(2)を解くのは難しいだろう。	標準
<b>3</b>	確率 数列	数学A 数学B	題意が取りにくかったかもしれない。さいころの2つの目がテーマの(1)だけでも解いておきたい。	やや難
<b>4</b>	微分法・積分法	数学Ⅱ	円と放物線が接するときの面積の問題。おうぎ形や三角形の面積も利用して、ぜひ完答したい。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

北大では珍しい「整式」の問題や「外角の2等分線」の問題が出題されたので、例年よりは難しく感じただろう。解けない設問が多く、過去問演習を中心とした対策によってはカバーできなかった者が多かったかもしれない。本番で慌てないようにするためには、教科書からスタートして、教科書傍用問題集や標準レベルの入試問題集までしっかりこなし、いろいろなタイプの問題演習により、きちんと準備しておくのがよいだろう。